

適正な公金支出等を政策法務の視点からチェックする体制等の構築について (千葉県成田市)

取組概要

本市においては、新たな補助金等を創設する際、原則として個別の規則を制定して対応している。これにより、予算審議が行われた補助金等であっても、再度、法的な観点から条文を含めたチェックが行われ、公正な公金支出の担保と職員の政策法務能力の向上に繋がっている。また、令和4年度からは、一部の自治体で行われている行政ドックを見習い、公金支出のみではなく、行政処分に係る手続等を組織内でチェックしていく体制を構築した。

取組の効果

- 公金支出の恣意的な運用の軽減による適正な公金支出
- 適正な行政処分等の実施
- 庁内手続に伴う職員の人材育成
- 適正な行政に伴う将来の紛争リスクの軽減
- 組織としての横断的な意識の共有

創意・工夫した点

規則ではなく、要綱で対応した方が楽であり、短期的には煩雑な事務の負担がないように思われるが、将来的には良い方向にいく旨を説明するとともに政策法務の手引き等にルールを明確化した。

他団体へのアドバイス

改善することや結果を残すことも大切ですが、初心に戻り、やるべきことを地道に続ける地味な改革も大切です！！

人口 130,318人 (R4.1.1現在)

担当 総務部 総務課



庁内の会議風景

成田市版「行政ドック」のイメージ図



成田市版行政ドック